

2017年度入試の主な変更点について

大学入試センター試験利用入試が充実

1

全学部・全学科で大学入試センター試験
利用入試B方式を実施します。

2017年度入試より、国際文化学部が大学入試センター試験利用入試B方式を実施します。これにより、全学部・全学科で大学入試センター試験利用入試B方式が受験可能になります（理工学部機械工学科航空操縦学専修を除く）。

2

12学部で大学入試センター試験
利用入試C方式を実施します。

2017年度入試より、文学部英文学科・心理学科、現代福祉学部、デザイン工学部建築学科が大学入試センター試験利用入試C方式を実施します。これにより、12学部の全学科で大学入試センター試験利用入試C方式が受験可能になります（理工学部機械工学科航空操縦学専修を除く）。

グローバル化に対応した入試制度が充実

一般入試

1

英語外部試験利用入試の
実施学部が増えます。

2017年度入試より、経済学部国際経済学科が英語外部試験利用入試を実施します。これにより、文系5学部6学科、理系2学部5学科で英語外部試験利用入試が受験可能になります。

2

英語外部試験利用入試で
TEAPが利用可能になります。

2017年度入試より、人間環境学部、スポーツ健康学部、情報科学部、生命科学部では、英語外部試験利用入試で利用できる外部試験にTEAPを追加します。また、国際文化学部では分野優秀者特別入試の出願資格にTEAPを追加します。

特別入試

3

グローバル体験公募推薦入試の
実施学部が増えます。

2017年度入試より、文学部日本文学科が海外高校への留学体験を持つ高校生を対象にしたグローバル体験公募推薦入試を実施します。これにより、文学部哲学科・日本文学科・英文学科、経営学部経営戦略学科、キャリアデザイン学部で受験が可能になります。

4

国際バカロレア利用自己推薦特別入試の
実施学部が増えます。

2017年度入試より、経済学部国際経済学科と人間環境学部が国際バカロレアの資格取得者を対象にした国際バカロレア利用自己推薦特別入試を実施します。これにより、文学部哲学科・英文学科、経済学部国際経済学科、人間環境学部、キャリアデザイン学部で受験が可能になります。

なお、国際文化学部の分野優秀者特別入試においても国際バカロレア資格取得者を出願資格の1つとしています。

5

外国人留学生対象特別入試の
実施学部学科が増えます。

2017年度入試より、経済学部国際経済学科が外国人留学生のための入試（面接有り）・書類選考による入試（渡日前入試）を、社会学部が外国人留学生のための書類選考による入試（渡日前入試）を実施します。

お知らせ

2018年度入試より、国際文化学部の一般入試A方式の「外国語」は、独語、仏語、中国語を廃止し、英語（コミュニケーション英語I・II・III、英語表現I・II）のみとなります。同学部の「外国語」における独語、仏語、中国語の実施は2017年度入試が最後となります。なお、国際文化学部では2017年度入試より大学入試センター試験利用入試B方式を実施しますが、この方式では「外国語」として英語（リスニングテストを含む）・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語を選択することができます。